

第2期角田市スポーツ推進計画の策定に係る意見公募（パブリックコメント）に提出されたご意見と市の考え方について

項目等	頁	質問No.	提出者符号	要望・意見等	市の考え方
第2章					
1 社会情勢及び国の動向	4	1	Aさん	中学校の部活動を学校教育から地域に移行する形で検討しているようですが、異議を唱えたいと思います。生徒数の減少ということとは理解できます。ただ、先生方の労働時間過多の問題については、部活だけ外部の人間に依頼して実施することはどのようなのでしょうか？地域移行にすると、これまで学校教育の一環として取り組んできた部活は、ただスポーツをやるということではなく、当然体力向上の目的と合わせて、互いの協力と信頼を培うことに貢献していると思います。部活動を地域移行すると勝利至上主義となり、スポーツ本来の楽しみ、他者を尊重する精神を培うと共に、健康で活力ある社会を作る精神にあるのが、中学校部活であると確信しております。勝利至上主義に走ると部活に入部するのに抵抗が出て、スポーツをやりたい気持ちにならなくなり、人が集まらなくなり、そして活動ができなくなることが危惧されるという理由から述べたものです。	学校部活動の地域への移行については、令和4年12月にスポーツ庁・文化庁から「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が策定され、令和5年度から令和7年度の3か年を実証事業の期間とするなど、地域移行の具体的な国の方針が示されました。 一方で、本市においては令和3年1月から部活動の今後のあり方について、スポネット会議等により検討を進めてきました。現時点での動きとしては、教職員の働き改革に主眼を置き「休日」の部活動を地域へ移行を進めると共に、人数が少なく活動ができなくなった種目や学校部活動になかった種目などの体験機会を創出するため、＋チャレンジ事業などを進めております。 市としましては、部活動に対する生徒の多様な価値観を尊重しながら、子供たちが学校だけに限らず、地域の中においても真にやりたいスポーツ・文化活動を見つけられるよう、選択肢を用意して行きたいと思います。
第4章					
1 基本理念	21	2	Aさん	先般、市長が宣言した「アクティブシティ」を述べておりますが、全国で神戸市に次いで2例目ということですが、神戸市の内容を見ると凄いのを実施しているようなので、角田市ではスポーツ施設の着工においても又世界的イベント開催については無理があると思います。本当に神戸市のような取組みができるのですか？アクティブシティ宣言とは大きなイベント開催や施設の充実だけではないと思いますが、やはり宣言したからには神戸市で行っている大規模イベント開催が必要と思うのは私だけでしょうか？	ご意見としていただきました大規模なスポーツ施設の整備、世界規模のスポーツ大会の開催については、先行する神戸市との財政規模等が違いすぎるため早期の実現は困難なものと理解しております。 今回、本市が行った「アクティブシティ宣言」の目的は、P22にも掲載しておりますとおり、運動・スポーツの持つ多様な価値を活かして、住民の福祉の向上に資するための取組みを、市を挙げて行っていくことを宣言したものです。「ウェルビーイング（自らの身体、精神状態や周りの環境も良好な状態）」を目指し、市民の幸福度を上げるための取組みを全庁横断的に取り組んでまいります。
第5章					
基本目標 1	28	3	Bさん	フレイル予防が高齢者にとって大事なことであるが、高齢者は何か外に用事がないと出かけることが少なくなる。高齢者が元気に毎日をおくるための秘訣は「キョウイク（教育？）」「キョウヨウ（教養？）」であるという。「キョウイク」とは「今日も行くところがある」こと、「キョウヨウ」とは「今日も用事がある」ことだそうである。出かける用事を作ると良い。一つの用事の例が防災町歩きである。丸森町で数年前に洪水に襲われたが、角田市でもゲリラ豪雨や線状降水帯で阿武隈川が氾濫する恐れがないとは言えない。私の住んでいるところでは阿武隈川が氾濫すると4 mとのことで、市民センターに避難が一番だが、間に合わないときには救命胴衣を身に着けて2階へ垂直避難することとしている。また、市民センターまでの経路を何回か散歩したりしている。夜間ではどうか、等はまだである。自分の避難所までの散歩とかを日常の中に取り入れたい。 また、一人暮らしの高齢者等は誰とも話をしないことが多くなる。しゃべらないと口の筋肉が弱るフレイルの恐れもある。NHKのみんなのうた等で謳われる歌を謳うことで口の周りの筋肉を鍛えるのが良い。また、フレイル予防の観点で、10時や15時頃のテレビ体操や、朝6時半のラジオ体操をルーティンにするとよいと思う。体操の中でジャンプするのは骨の活性化に良いと思う。 この他、私は右利きであるが、歯を磨くときにご飯を食べる時に左手を意図的に使っている。またけん玉も左右両手でやるようにしている。ボーリングクラブに入っているが、右手で4投、次に左手で4投と交互に投げるようにしている。これらのことで、右脳を鍛えている。右脳は芸術や感情をつかさどるのであるが、認知症予防にも効果があると言われている。	自己の体験等も含め、高齢者のスポーツ活動について詳細にご提案いただきました。 本計画においても、「身近な地域で気軽に参加できる運動機会の提供」を謳っておりますとおり、運動機会を提供しながらご近所やご友人たちと楽しくサークル活動が展開いただけるよう、サークル活動の立ち上げや運動講師の派遣事業などを支援していきます。 「キョウイク」、「キョウヨウ」の機会として行政だけではなく、地域とも連携しながら高齢者の方々の運動・スポーツ活動を支援してまいります。
		4	Cさん	「高齢者のスポーツ活動の推進」における追加提案 ③世代間交流によるスポーツ活動の企画 → ③世代間交流によるスポーツ活動・レクリエーションの企画 ④「 」←（平均年齢82歳なのでそれにあった指導していただければと思います。）	③のレクリエーションは身体活動全般を「スポーツ」と定義付けしておりますことから、文字掲載は行いませんが、世代間交流に当たっては競技性やルールもゆるいメニューが必要だと思われますことから、有効な提案として承ります。 ④サークルメンバーの平均年齢が82歳ということは、だいぶ幅広い年代の皆様で構成されている団体かと思います。健康志向の増大や予防介護の観点から、無理のない日常的な運動・活動並びに、仲間作りが非常に重要となってきます。今年度も実施しましたが、各サークルへの運動講師の派遣事業については、今後も継続してまいりますので、各サークルの体力等にあった指導を提供できるよう努めてまいります。
基本目標 3	31	5	Bさん	外国人等のスポーツ施設利用（ユニバーサルデザインの視点、SDGsの施設利用の公平性）を推進するため、スポーツ施設に英語での説明を入れる。広報も英語と併用することや外国人用に優しい日本語でスポーツ施設の紹介や利用方法を紹介する。スポーツ相談室のようなものがあればいい。	スポーツ施設に関わらず、公共施設の整備・改修についてはユニバーサルデザインを用いております。改修計画に沿って進めるため、旧来の施設のまま改修が進んでいない施設もありますが、ご指摘のありますようにどなたでも安心して施設を利用いただくよう努めてまいります。
		6	Bさん	スポーツで活躍した有名なゲストを呼ぶこともいい。マラソンの松野明美さん等が呼べると良い。	また、「施設利用の説明等を英語表記に」というご指摘については、適宜対応するよう進めてまいります。 プロスポーツなど、一流選手のプレーが生で観戦できるように、大会誘致に取り組むと共に、市民大会等へ有名選手を招聘できるように、各競技団体と協力しながら進めてまいります。
基本目標 4	33	7	Aさん	「Kスポ」を活かしたスポーツの取り組みは大いに結構だと思います。ただ、（Kスポは）市内中心地からは遠方にあることから、特に高齢者の方や体が不自由な方は行くことができないので、ラビットくん（デマンドタクシー）ではなく、もっと利便性の効く配車等を考えていただき、誰でも、いつでも参加しやすい環境をお願いします。	Kスポまでの移動手段については、明快な解決策までお示しすることは難しいですが、今回のスポーツ推進計画では、日常生活の中に意識的に運動・スポーツを取り入れ、特別な場所や運動器具等を用いなくとも取り組めるように務めていくこととしています。 一方で、Kスポ施設にお越しになれない方のために、運動・スポーツの指導者を地域の公民館等でのサークル活動へ派遣するなど、身近に専門的な指導を受けられる事業も行う予定です。 公共交通等で、Kスポへお越しになればより一層、専門の施設・運動器具等へ触れていただくことは可能ですが、現時点においては難しい状況です。

項目等	頁	質問No.	提出者符号	要望・意見等	市の考え方
その他					
		1	Bさん	学校の運動会や文化祭を一般の人にも見学してもらう。季節ごとにどこの小中高の運動会や文化祭があるかを広報で紹介し、学校開放する。怪しい人が入らないように警備も必要になる。	市内の小中高校で開催されます運動会・文化祭については、基本的に来場者の制限は行っておりません。運動会では地域（一般）の方の参加できる種目が設けられるなど進められています。
		2	Bさん	テレビ体操NHK総合朝10時5分及び午後3時5分、ラジオ体操は朝6時半からある。この時に一緒に体操をすることを勧める。市役所でも「まず腕より始めよ」で模範を示すため、休憩のためテレビ体操を一斉に行うのがいい。	テレビ体操を一斉に行うことは難しいですが、市役所としましても職員の健康管理のために、できることから進めてまいります。
		3	Bさん	角田市であれば阿武隈川の氾濫が一番可能性がある。自分の家から避難所までの距離を歩き、昼間だったらどこが危ないか、夜だったらどこが危ないか等を歩きながら確認する。阿武隈川であればどこが危ないかを知っておく。NHKでのテレビのdボタンで水位等が出る。ハザードマップで自分の地域の水害時の浸水高さを知っておくのが良い。水害防止町歩きキャンペーンで周回バスで阿武隈川の周囲を回る、降りてみる必要等がある。 できれば（キャンペーンで）歩くときに少し負荷をかけるということで、つま先歩き（かかとを浮かす）を試してみるのもよい。または、普通に歩いてつま先に力を入れて蹴りだすような歩き方でもよい。足に普通に歩くより少し多めの負荷をかけるとふくらはぎ（第2の心臓）の刺激になると思う。	健康維持のためにウォーキングを日課としている愛好者の皆様は多くおりますが、運動をあまりしない人へのきっかけとして「防災」の視点からのアプローチも考えられます。頂戴しましたご意見は、防災担当課へ提供すると共に、効果的な正しい歩き方につきましても、ウォーキング愛好者の方にご案内して行きたいと思います。
		4	Bさん	私は高校の時に岡山県の高校だったが、隣町の高校と合同での体育祭のようなものを行っていた。角田市も柴田町や丸森等と共催のスポーツ大会があればいいと思う。	学校対抗の体育祭という部分では、角田高校と白石高校の「定期戦」が有名ですが、小中学生等も含めスポ少や中体連等、市内の小中学校のみならず、近隣の市町村との各種大会は随時開催されています。社会人世代におきましても競技スポーツの分野において、社会人リーグ等も開催されております。